

第17回企業短観調査 (2020年6月)

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	5 (12.8%)
建設業	254	18 (7.1%)
小売業	506	25 (4.9%)
サービス業	382	36 (9.4%)
製造業	122	15 (12.3%)
全業種	1,303	99 (7.6%)

考察

●売上・収益ともに前回調査と同様に「減少」が最も高い割合を示した。ほぼ全ての業種で新型コロナウイルスの影響を受けており、売上回復への道りは険しいものと思われる。今後の見通しについては、売上・収益ともに前回調査に比べ「減少」の割合が10%ほど縮小した。飲食店や小売店などを中心に今後の制限緩和による売上回復を期待していると思われる。

●資金繰り・人手状況については前回調査同等の割合を示した。6月29日、第94回全国花火競技大会「大曲の花火」の開催見送りが決定したことにより、「春の章」を含めて2度目の開催見送りという結果となった。大仙市は、各事業所に給付金などの支援などを拡充する方向でいるが、大規模イベントの開催見送りによる地域経済へのダメージは非常に大きい。

